



明日へつなげる岐阜市の自然

自然ふれあい活動支援ワークショップ

第64号 平成20年11月発行

○はじめに

岐阜市には、金華山、長良川をはじめとした誇るべき自然環境が多くあります。その一方、生活環境の変化、生活基盤を支える様々な整備により、貴重な自然環境が減少しているのもまた事実です。

このような状況の中、岐阜市の素晴らしい自然を市民・地域共有の財産として次世代へと引き継ぐため **市民と行政の協働による「自然ふれあい活動」**に取り組みます！！



金華山学習プログラム検討ワークショップ

- ・達目ハイキングコース～唐釜ハイキングコース（10月16日）
- ・大釜登山道～鼻高ハイキングコース～大参道ハイキングコース（10月22日）

○達目ハイキングコース～唐釜ハイキングコース

10月16日（木）、10月22日（水）に金華山学習プログラムを作成するためのワークショップを、日頃から金華山に親しんでいる市民の皆さんと一緒に行いました。達目ハイキングコースから金華山に向かって進んでいくと真っ先に目についたのが、竹藪と所々できれいな花を咲かせる茶の木でした。これらはかつてこの辺りが、人手が入った“里山”だった時の痕跡だそうです。さらに奥に歩を進め、国有林に入ると金華山の特徴であるツブラジイの森が広がってきます。アベマキの生える尾根に上り、唐釜ハイキングコースに入ると、密生したヒノキ植林が広がり、風に煽られて傾いて成長した森も見ることが出来ます。何気ない森の姿も、じっくり見てみると、色々な特徴が見えてくるものですね。



ツブラジイの森を巡りながら
各登山道の見所を見ていきました



ツブラジイの板根



秋の恵みムカゴ



茶の花が美しく咲いています



イタドリの花

○大釜登山道～鼻高ハイキングコース～大釜登山道ハイキングコース

大釜ハイキングコースを登っていくとよくわかるのが、金華山の植生の変化です。切株や伐採された樹木から昔はこの辺がアカマツ林だったことを伺わせます。また、登っていくと地形や環境によって樹木の種類が変わっていくことに気づかされます。

鼻高ハイキングコースでは、いくつかの歴史的な石垣（砦跡）も見ることが出来ます。ワークショップ参加者の方は、「戦国時代には砦周辺はもちろん、外部からの侵入に備え、金華山のほとんど全ての木が伐採されていたのではないかと話をされていました。

今となっては昔の姿を確認することはできませんが、金華山の森は、時代ごとに確実にその姿を変えているのでしょ。

○おわりに

岐阜公園を起点とし、多くの方が登山を楽しむ金華山の西側には様々な見所がありますが、今回皆さんと歩いた金華山東山麓のコースも、自然の面白さや歴史の深さを感じさせる見所を見つけることが出来ました。その一つ一つはじっくりと観察しないとわからないかもしれないかもしれませんが、金華山の魅力には奥の深さがあることを実感しました。今後は、参加者から頂いた視点を基に見所をまとめて、『ぎふネイチャーネット

(<http://www.gifu-nature.net/>)』にて情報発信して

いきたいと思います。



このメンバーで
金華山を見て歩きました



大釜登山道を登ると徐々に森の姿が変化していく様子が見られます。



かつてはアカマツ林だったことを伺わせる跡が各所に見られます。森は人との関わりの中で時代と共にその姿を変化させています。



近年、金華山とその周辺でイノシシの痕跡をよく目にします。森の中にも泥浴び場（ヌタ場）を発見。

岐阜市自然ふれあい活動に関する問い合わせ

岐阜市 自然共生部 自然環境課 担当：吉村

TEL : 058-265-4141 (内線: 6452) FAX : 058-267-1374

E-mail : shizen@city.gifu.gifu.jp

岐阜市の自然のポータルサイト「ぎふネイチャーネット」:

<http://www.gifu-nature.net/>

自然環境課ホームページ : <http://www.city.gifu.lg.jp/c/12050000/12050000.html>